

【今年5頭目】野毛山動物園で世界的にも希少な ヘサキリクガメの繁殖に成功しました

野毛山動物園で、絶滅危惧種に指定されているヘサキリクガメの繁殖に成功しました。今回繁殖した個体は、令和3年7月6日(火)に産卵されたもので、令和3年12月19日(日)に孵化しました。令和3年9月13日(月)に続いての繁殖となり、今年で5頭目、累計では11頭目となります。

ヘサキリクガメは、国内では野毛山動物園だけで飼育されています。生息地であるマダガスカル共和国の保護施設以外での飼育下繁殖は世界的にも例が少なく、飼育方法等に不明な点が多いため、野毛山動物園での繁殖成功に関する記録の蓄積は、種の保存の面からも貴重なデータとなります。

現在は爬虫類館の水槽で先に孵化した個体4頭と共に展示を開始しています。孵化した子ガメは卵黄嚢(孵化直後の栄養分)吸収後、エサのハコベを食べ始めました。

引き続き、今回孵化した個体を含む5頭の子ガメの飼育管理に取り組んでまいります。



今回孵化した個体(孵化1日目)



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

野毛山動物園 園長 田村 理恵 Tel 045-231-1307

【参考資料】

1 今回孵化した個体について

孵化日	令和3年12月19日（日）
頭数	1頭 ※性別不明
孵化日数	約166日
産卵日	令和3年7月6日（火）その後、孵卵器に入卵
両親	両親とも種の保存法違反で摘発された違法飼育個体 平成23年4月30日から野毛山動物園で飼育

2 ヘサキリクガメについて

和名	ヘサキリクガメ
英名	Angonoka tortoise
学名	<i>Astrochelys yniphora</i>
分類	カメ目 リクガメ科
分布	マダガスカル島北西部のバリー湾周辺
形態	最大甲長約45cm、オスはこのどの下の甲羅の喉甲板が船のヘサキのように伸びており、名前の由来ともなっている。
生態	野生では約100～400頭が生息するのみで、世界で最も絶滅が危惧されているリクガメの一つ。食性は植物食で草や多肉植物等
ワシントン条約 (CITES)	附属書I（絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの）
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	CR（深刻な危機にあり、野生で極度に高い絶滅のリスクに直面している種）
当園飼育頭数	15頭（オス3頭・メス1頭・不明11頭）（今回繁殖した個体含む） （令和3年12月28日現在）
国内飼育園館	野毛山動物園のみ
その他	1970年代に森林伐採などで生息数が激減し、現地の保護施設で10年以上かけて170頭ほどの繁殖に成功したものの、1996年にはその約半数が盗まれ、各国に密輸された。

3 野毛山動物園について

入園料：無料

開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）

休園日：毎週月曜日（祝・休日の場合は翌日）、12/29～1/1 ※3/28（月）は開園

交通：JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車徒歩15分、または市営バス89系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ 京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩10分

URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>

住所：横浜市西区老松町63-10

問合せ先：045-231-1307

※野毛山動物園では、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。